

10月17日(月)

命

3年生が^{どうとく}道徳で「^{いのち}命を^{いただ}いて

^いる」という^{べんきょう}勉強をしていました。

^{わたし}私たち、^{ひと}いろんな人のおかげで^{いのち}命

を^い生かしていることができるのです。

3年生からは、^{つぎ}次のような^{いけん}意見が

^で出ました。

^{ともだち}「友達」

^{せんせい}「先生」

^{しんせき}「親戚」

「いとこ」

^{ぜんいん}「全員」

^{きんじょ}「近所の人」

「ボランティアさん」

この人たちのおかげで、この人たちの^{ちから}力を^か借りながら

^{わたし}私たちは^{いま}今、^い生きているのです。

また、「^{さかな}魚」「^{うし}牛」という^{いけん}意見も^で出ました。人ではありませ

んが、^{たし}確かにそうですね。^{さかな}魚や^{にく}肉を^た食べることによって、

^い生きています。

^{とう}お父さんや^{かあ}お母さんだけでなく、^{ひと}たくさんの人や^い生き物の

おかげで^{いのち}命が^{つづ}続いていることを3年生は^{べんきょう}勉強したようです。

^{みな}皆さんも^{かんが}考えて^{くだ}みて下さい。命が^{いのち}続いていく、^{つづ}生きていく

ために^{ひと}たくさんの人(生き物、モノ)が^{ささ}支えて^いくれていると

いうことを。

村越 新

